

橋梁整備

瑞浪市の土木課が作成した橋梁の個別施設計画によると、瑞浪市が管理する橋梁は2023年現在で橋長15m未満が289橋、橋長15m以上が75橋の合計364橋がある。このうち、建設年が不明な橋梁は除くと、建設後50年を経過する橋梁は全体のうち、17%を占めている。20年後には、建設後50年を経過する橋梁が約75%となり、管理する橋の高齢化、老朽化が急速に進行する。

(瑞浪市の対応)

- ・橋梁点検：「岐阜県橋梁点検マニュアル」に基づき、専門家が概ね5年ごとに実施し、橋の健全性を把握する。
- ・長寿命化修繕計画：策定した計画に基づいて優先度の高い橋梁から修繕を実施する。
- ・実施する点検、修繕工事：最新の技術を調査し、管理橋梁の維持管理に活用する。
- ・点検、修繕結果：橋梁台帳及び点検調書等に記入し電子データとして保存する。
- ・古い管理橋梁：地域の利用状況を把握し、利用実態がない橋梁及び回路等代替機能が確保できる橋梁については撤去、集約を検討する。
- ・財源として国の「社会資本整備総合交付金」を活用する。

《課題》

老朽化による損傷が発生する橋梁が増えていくと考えるが、橋梁管理に携わる土木技術者の確保が、これからの市が実施する橋梁点検の進捗に大いに関係してくると思う。関係職員の確保と研修の実施をより一層進めていく必要がある。

ため池整備

《経緯》

平成30年7月豪雨により、多くの農業用ため池が決壊し、人的被害を含む甚大な被害が発生した。一方、決壊により下流の住宅などへ被害をおよぼすおそれがある農業用ため池は全国に数多く存在している。地方公共団体などからは、財政やマンパワーに限界があり、防災工事等を推進するためには財政支援や技術支援が必要との声が多く寄せられた。このため、国において防災重点農業用ため池に係る防災工事等を集中的かつ計画的に推進することとした。

《瑞浪市》

岐阜県と連携しながら、県営ため池等整備事業によるため池の防災工事を行うとともに、利用しなくなったため池の廃止を行う。

農業用ため池（災害防止用ダムを含む）等の機能低下や老朽化、流木の流下等による決壊漏水等に伴う人家等への災害を未然に防ぐため、岐阜県が作成した改修及び廃止事業計画に基づき、ため池堤体及びその他施設の新設、改修、廃止を実施する。

《農業用ため池の現況》

- ・農業用ため池 147か所
- ・防災重点農業用ため池 104か所

[R6～整備中]

検丈下池（土岐）・羽根（明世）・岩倉大（釜戸）

[整備予定]

水洞（瑞浪）・逆川防災ダム（釜戸）



土岐町：検丈下池